

平成 23 事業年度

決算報告書

【第8期】

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

国立大学法人 お茶の水女子大学

平成23年度 決算報告書

国立大学法人 お茶の水女子大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	4,699	4,769	70	(注1)
うち補正予算による追加	1	1	-	
施設整備費補助金	10	10	-	
うち補正予算による追加	10	10	-	
補助金等収入	410	719	309	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	77	75	△ 2	(注3)
自己収入	2,060	1,988	△ 72	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,958	1,807	△ 151	(注4)
雑収入	102	180	78	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	473	441	△ 32	(注6)
引当金取崩	-	2	2	(注7)
貸付回収金	-	0	0	
計	7,729	8,008	279	
支 出				
業務費	6,759	6,637	△ 122	
教育研究経費	6,759	6,637	△ 122	(注8)
施設整備費	87	135	48	(注9)
うち施設災害復旧事業	10	10	-	
補助金等	410	713	303	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	473	425	△ 48	(注11)
貸付金	-	0	0	
計	7,729	7,912	183	
収入 - 支出	-	96	96	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金債務を繰越したため、予算額に比して決算額が70百万円増額となった。
- (注2) 国からの補助金により、予算額に比して決算額が309百万円増額となった。
- (注3) 国立大学財務・経営センター施設費交付金の受入が、予算額に比して決算額が2百万円減額となった。
- (注4) 授業料及び入学金及び検定料について、予算額に比して決算額が151百万円減額となった。
- (注5) 財産貸付及び研究関連収入の利用増加等に伴い、予算額に比して決算額が78百万円増額となった。
- (注6) 受託研究等の受入れが予算額に比して決算額が32百万円減額となった。
- (注7) 引当金取崩が予算額に比して2百万円増額となった。
- (注8) 注4に示した理由により予算額に比して122百万円決算額が減額となった。
- (注9) 施設整備費繰越を執行したため、予算額に比し48百万円決算額が増額となった。
- (注10) 注2に示した理由により予算額に比して303百万円決算額が増額となった。
- (注11) 注6に示した理由により予算額に比して48百万円決算額が減額となった。